

**2021年度**  
**A O入試<I期>**  
**2020年10月25日実施分**

**問題と解答**

**国語**

## 国語

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

『成長の限界』の報告を受けて、一九八〇年代から「持続可能な発展（開発）」（Sustainable Development）が議論されるようになったが、この概念は一九八七年の「国連環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）において提唱され、国連総会での承認を経て形成されてきた。「持続可能な発展（開発）」は、ブルントラント委員会の報告書『われらの共有する未来』（Our Common Future）において次のように

①

『持続的な発展（開発）』とは、将来の世代の要求を充たしつつ、現在の世代の要求も満足させるような開発をいう。持続的な発展（開発）は鍵となる二つの概念を含んでいる。一つは、何にも増して優先されるべき世界の貧しい人々にとって不可欠な『必要物』の概念であり、もう一つは、技術・社会的組織のあり方によって規定される、現在および将来の世代の要求を満たせるだけの環境の能力の限界についての概念である」（WCED, [1987 = 1987] 66）。

すなわち、「持続可能な発展（開発）」とは、経済開発だけを重視したものではなく、開発のために必要とされる有限な自然環境や天然資源の保全を行い、両者を同時に可能にするために「環境共生型社会」を実現すること、また、社会的には貧困層が満足できる生活を営むための「社会的正義」<sup>①</sup>（もしくは、社会的公正）と、将来の世代の利益にはいり<sup>②</sup>出した「世代間倫理」の思想とが盛り込まれたものになっている。この議論に影響を与えた米国のエコロジー経済学者、H・E・デイリーは、経済開発の側面からこの「持続可能な発展（開発）」を実現する条件として次の三点を示している（Daly, H. E., [1996 = 2005] / Steiguer, J. E. de, [1997 = 2001] 153-167）。

① 土壌、水、森林、魚など再生可能な資源の持続可能な利用速度は、再生速度を超えるものであってはならない（例えば、魚の場合、残りの魚がはんしょく<sup>イ</sup>することで補充できる程度の速度でほかくす<sup>ウ</sup>れば持続可能である）。

② 化石燃料、良質鉱石、「地層に閉じ込められていて循環しない」化石水など、再生不可能な資源の持続可能な利用速度は、再生可能な資源を持続可能なペースで利用することで代用できる速度を超えてはならない（化石使用を例にとると、埋蔵量を使い果たした後も同等量の再生可能エネルギーが入手できるよう、石油使用による利益の一部を自動的に太陽熱収集器や植林に投資するのが、持続可能な利用の仕方ということになる）。

③ 汚染物質の持続可能な排出速度は、環境がそうした物質を循環し吸収し無害化できる速度を超えるものであってはならない（例えば、下水を川や湖に流す場合には、水生生態系が栄養分を吸収できるペースでなければ持続可能とはいえない）。

ここでは、人間が資源を利用する際にはいりょ<sup>ア</sup>しなければならぬ自然の特性が指摘されているが、それは第一に自然の再生秩序に従うこと、第二にエネルギー供給源として代用可能な複数の資源を確保すること、第三に自然が汚染物質の浄化に要する時間を考慮に入れることである。すなわち、従来の開発が外部不経済としてきた自然環境を<sup>（注1）</sup>経済活動の内部に組み込む視点が示されている。

これに関連して、デイリーは伝統的な古典派経済学の自然に対する認識論、すなわち、経済システムは閉鎖系システムであり、自然環境から独立して存在するという認識に対して、批判的な立場を採っている。すなわち、経済システムと自然生態系とを相互に独立し、閉鎖したシステムとして捉えるのではなく、それらは相互に関連し影響し合う一つのシステムとして位置づけられることになる。そこで、デイリーは経済システムを「抽象的な交換価値の、<sup>（注2）</sup>こりつした——質量のバランス、エントロピーや有限性によって制限されない——循環フロー」ではなく、「有限な自然の生態系（環境）の中の開かれた下位システムとして想定」することが必要だと述べている（前掲書）。

こうした認識のもとで、拡大する経済システムに対して、デイリーは分配の公正や完全雇用、物価水準の安定といった従来のマクロ経済学の目標に「最適規模」（生態系と比較した経済全体の最適規模）を加えることを主張している。この「最適規模」とは、経済システムが生態系との関係において、最適なバランスが取れた状態を示している。デイリーはそのための経済規模のあり方を二つの最適性という形で提示している。第一に人間中心主義的な最適性、第二に生命中心主義的な最適性、である。

人間中心主義的な意味としての最適性の考え方では、経済規模は人間が自然から得る便益と自然を犠牲にできる費用とがきん コウするまでは拡大できることになる。すなわち、これは自然生態系の限界をはいり ヨした経済システムを実現するということである。これに対して、生命中心主義的な意味としての最適性の考え方では、人間の便益とは無関係に自然を優先的に保護することによって、両者はきん コウするというものである。これは経済規模を現状の水準で維持することを意味している。デイリー自身は経済システムがこの最適規模を上回らず、自然生態系とのバランスが取れていれば、いずれの選択も可能であると考えている。

ここから「持続可能な発展（開発）」には二つの方向性、すなわち、一方で、キ ぞんの社会システムの内部修正によって環境問題に対応し、経済成長を重視した路線を維持していく方向性と、他方で社会的な共通の目標として生命中心主義的な価値観を受容することで、いわゆるトリプル・ボトムラインとしての、環境・経済・社会的な側面に及ぶ、環境共生型の社会を構築する方向性が導き出される。

（松野 弘「環境思想とは何か——環境主義からエコロジズムへ」より）

（注1）外部不経済Ⅱ市場を通じて行われる経済活動の外側で発生する不利益が、個人や企業に悪い効果を与えることをいう。代表的な例としては公害問題がある。

（注2）エントロピーⅡ熱力学の用語で、系の乱雑さ、無秩序さ、不規則さの度を表す。

問1 太線部㉑～㉒の熟語のカタカナで表記された部分に使用する漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選  
びなさい。

㉑  
コリツ  
④

5 4 3 2 1  
個 狐 子 弧 孤

㉒  
はいリヨ  
①

5 4 3 2 1  
紹 侶 慮 旅 虜

㉓  
きんコウ  
⑤

5 4 3 2 1  
交 衡 公 行 構

㉔  
はんシヨク  
②

5 4 3 2 1  
食 埴 触 殖 植

㉕  
きぞん  
⑥

5 4 3 2 1  
記 機 規 既 期

㉖  
ほカク  
③

5 4 3 2 1  
格 拡 穫 獲 確

問2 傍線部①と②の文中における意味を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 社会的正義

⑦

- |            |            |              |                 |            |
|------------|------------|--------------|-----------------|------------|
| 5          | 4          | 3            | 2               | 1          |
| 社会の治安がよいこと | 社会が平和であること | 貧者のみが豊かになること | 人々ができるだけ平等であること | 悪者をこらしめること |

② 生命中心主義

⑧

- |               |                |                |                |                 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 5             | 4              | 3              | 2              | 1               |
| 全ての生命を平等にみる立場 | 動物の生命のみを重視する立場 | 人間の生命のみを重視する立場 | 生きていることに感謝する立場 | 生き延びることを最優先する立場 |

問3 空欄③に入れるのに最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑨

- 1 批判されている
- 2 受け入れられている
- 3 賛意を表されている
- 4 議論されている
- 5 定義されている

問4 波線部①「世界の貧しい人々にとって不可欠な『必要物』」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の1～5の

うちから一つ選びなさい。  ⑩

- 1 日々の食事にどうしても必要な食材のこと
- 2 日々の移動に必要な乗り物のこと
- 3 生存や成長にとって必要不可欠な両親からの愛情のこと
- 4 必要最低限の生活水準を満たすために必要なもの
- 5 生存や成長を補助するために必要な教育のこと

問5 波線部②「自然環境を経済活動の内部に組み込む」とあるが、その意味として最も適当なものを、次の1～5のうちから

一つ選びなさい。  ⑪

- 1 自然生態系のシステムを経済システムの論理によって説明すること
- 2 環境問題を経済システムの中に位置づけて考えること
- 3 自然生態系のシステムを一方的に経済システムへと同化させること
- 4 自然環境を経済的利益をもたらす対象としてみなすこと
- 5 環境問題は経済活動の活性化によって解消すると考えること

問6 波線部①「社会的な共通の目標」とあるが、それはどういうものか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のう

ちから一つ選びなさい。

⑫

- 1 個人が社会において自由に設定した価値のこと
- 2 社会全体にとっての公共的な価値のこと
- 3 社会の特定の集団が追求する価値のこと
- 4 市民が自分の利益を増大させるために追求する価値のこと
- 5 社会の平和を実現するために必要な価値のこと

問7 本文に合致する内容として、最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑬

- 1 環境・経済・社会は、持続可能な発展を支える三つの重要な要素である。
- 2 環境保全と経済成長は両立不可能であり、経済成長を犠牲にしてこそ環境は保護できる。
- 3 環境保全と経済開発は、日本社会の発展の両輪である。
- 4 持続可能な発展とは、高齢層の要求を尊重しつつ、現代世代の要求も満足させるような開発である。
- 5 持続可能な発展は、これまでに達成された豊かな経済状態を維持することを目標とする。

Ⅱ 後の問い（問1と問2）に答えなさい。

問1 次の四字熟語①と②の空欄に入れる漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

意味

① 朝□暮改

①

5 4 3 2 1  
鈴 令 励 礼 例

政策などがころころ変わって一定しないこと

② □然自若

②

5 4 3 2 1  
太 大 耐 体 泰

どっしり落ち着いていて、物事に動じないさま

問2 次の慣用句①と②の意味としてもっとも適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① ほぞを固める

②

- 1 機嫌をそこねて意固地になること
- 2 覚悟を固めること
- 3 結婚して家庭をもつこと
- 4 取り返しがつかないことを後悔すること
- 5 生計の手段を確保すること

③ 身につまされる

④

- 1 自分の犯した悪行のために自ら苦しむこと
- 2 激しく思いつめて悩むこと
- 3 大きな苦勞をすること
- 4 しみじみ感銘すること
- 5 他人の不幸などが人ごとではなく感じられること

〔国語問題終了〕

2021年度 AO入試< I 期> 解答 10月25日実施分

国語	
解答番号	解答
①	3
②	2
③	2
④	1
⑤	4
⑥	2
⑦	2
⑧	5
⑨	5
⑩	4
⑪	2
⑫	2
⑬	1
⑭	4
⑮	1
⑯	2
⑰	5